

ヒメサナエ

Sinogomphus flavolimbatus

兵庫県：Bランク

環境省：

種の概要

体長38～46mm程度。翅胸前面の背隆線に沿う黄色部がT字状を呈する。腹部は黒色で、背面と側面に黄色斑がある。山地の勾配が小さな溪流に生息し、齢期の進んだ幼虫は川を下って下流で羽化し、成虫が川に沿って遡り上流で産卵する習性をもつ。そのため上流域から中・下流域まで良い環境が保たれている必要がある。成虫は5月～8月に見られ、羽化した成虫は上流部の樹林帯に移動する。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

姫路市、神河町、相生市、たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○



特記事項

各地で生息地の減少傾向が強い。本種は産卵場所から幼虫が下流に流される傾向が強い種で、砂防堰堤がその生息に影響を与えていると考えられ、今後も減少傾向がつづくと思われる。

保護上の留意点